



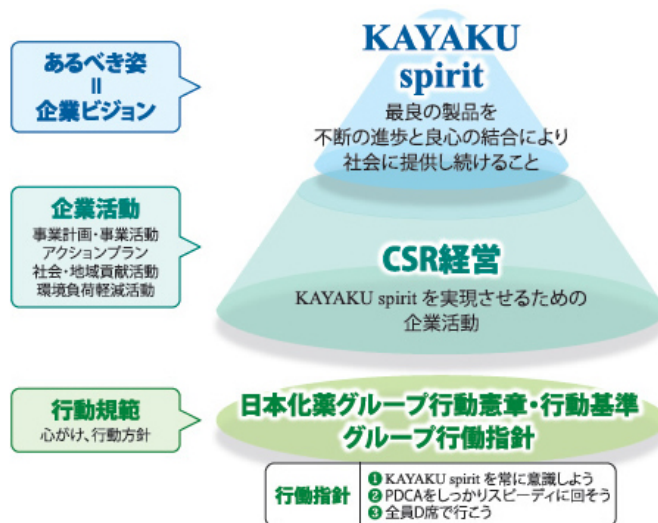
## 企業ビジョンとCSR経営

日本化薬グループは、KAYAKU spirit「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」を実現することによりすべてのステークホルダーの信頼に応えるCSR経営を行っています。

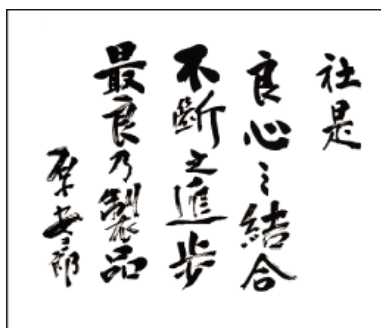
### KAYAKU spirit とCSR経営

KAYAKU spiritの「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」は、日本化薬グループの企業ビジョンです。これは50年以上前に制定された社是「良心の結合」「不断の進歩」「最良の製品」をもとにして長く受け継がれてきた私たちのCSR経営の原点です。私たちは企業ビジョンKAYAKU spiritを実現させるための社員一人ひとりの日々の企業活動そのものをCSR経営と位置づけています。

また、KAYAKU spiritを実現するための行動規範として、「日本化薬グループ行動憲章・行動基準」「グループ行動※指針」を定め、あらゆる企業活動において、基本的人権を尊重し法令を遵守し公正な事業活動を行いすべてのステークホルダーの信頼に応えてまいります。

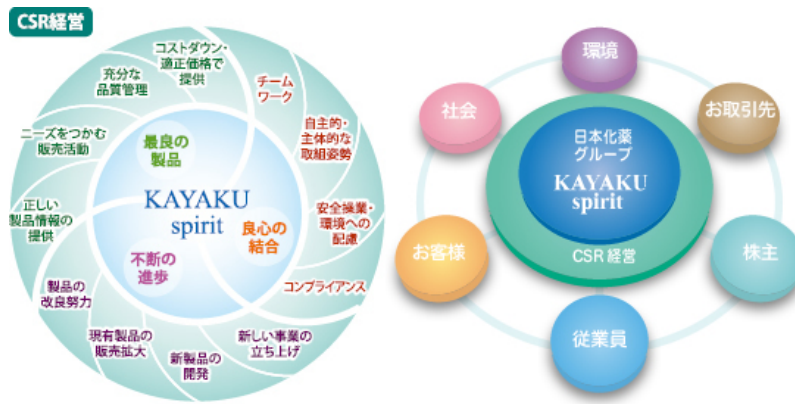


※ 行動：どうの字を「働く」と記載する「行動」は、日本化薬グループ独自の言葉、常にコスト意識をもち、付加価値を生み出すための活動



左下のイラストは、KAYAKU spiritを上から見たものです。「良心の結合」「不断の進歩」「最良の製品」の考え方に基いた社員一人ひとりの日々の活動が、互いに関係し合い手を取り合いながら頂点にある企業ビジョンに向かっていく姿を表しています。

そして、私たちは社会に存在する企業として、社会的責任、経済的責任、環境責任を果たし、すべてのステークホルダーの信頼に応えるCSR経営を実現していきます。



ステークホルダー	取り組みの全体像	主な取り組み例
お客様	お客様に最良の製品を提供するため、品質体制を整備し全社的に品質活動を行っています。 また、製品品質の向上や安全性・信頼性に配慮し、技術サービスや情報提供がお客様の満足度向上につながるように活動しています。	お客様とともに
お取引先	お取引先は『最良の製品づくりの大切なビジネスパートナー』と考え、相互の持続的な発展を目指してまいります。	お取引先・株主・投資家とともに
株主・投資家	株主・投資家等ステークホルダーの皆さまに、タイムリーかつ公平・公正な情報開示を行うことで、当社グループの経営状況や各種取組状況を適切にご理解いただけるよう努めています。	お取引先・株主・投資家とともに
従業員	企業活動の主体は“人”。 従業員一人ひとりの人権を尊重し、安心して働ける職場環境の整備に努め、仕事を通じて自らの成長と働きがいを感じられる会社を目指しています。	従業員とともに
地域社会	地域社会の活動に参加し、次世代を担う人材の教育支援やステークホルダーの皆さまとコミュニケーションを活発に行い、地域に根付いた会社を目指しています。	地域社会とともに
環境	生産の効率化と環境負荷の低減を両立させるため、環境経営の取り組みを重要課題とし、諸項目に対する目標を掲げ、その達成に努めています。 温室効果ガスを含む排ガス、エネルギーの効率的利用、排水および廃棄物の環境に排出される環境負荷物質の発生量低減を目指し、設備や処理プロセスの改善などに取り組んでいます。	環境への取り組み 環境・健康・安全・品質マネジメントシステム

## 外部イニシアティブへの参加

日本化薬は、ESG（環境・社会・ガバナンス）分野における取り組みにあたり、国際的な規範を遵守するだけに留まらず、さまざまな機関や他の企業などと連携することが重要であると考え、イニシアティブへの積極的な参画を進めています。

## ■ 主な外部団体の会員資格

団体名	
一般社団法人 日本経済団体連合会	農業工業会
一般社団法人 日本化学工業協会	海洋プラスチック問題対応協議会
東京商工会議所	一般社団法人 日本内部監査協会
化成品工業協会	一般社団法人 リスクマネジメント協会
日本製薬工業協会	公益社団法人 新化学技術推進協会
バイオシミラー協議会	一般社団法人 ナノテクノロジービジネス推進協会
公益社団法人 東京医薬品工業協会	一般社団法人 バイオインダストリー協会
日本火薬工業会	オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会
一般社団法人 日本自動車部品工業会	

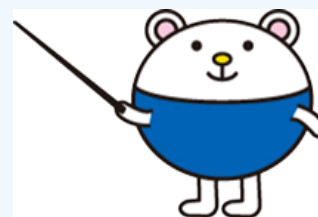
## CSR推進体制

社長を委員長とするCSR経営委員会を2010年に設置し、経営戦略本部経営企画部にCSR推進担当を組織しています。CSRアクションプランの目標や結果はCSR経営委員会にて審議、決議してトップダウンで推進しています。また、CSR推進担当は組織横断的なCSRプロジェクトを運営し、各部門・事業場やグループ会社が主体的に取り組む体制をとっています。



### 「かやくーま」を使ったKAYAKU spirit 浸透活動

グローバルに展開している日本化薬グループのすべての従業員にKAYAKU spirit を親しみやすく身近に感じてもらうために、KAYAKU spirit 浸透キャラクター「かやくーま」を作成しました。社内報で、各種CSR活動や企業ビジョン実践の模範的な活動を紹介するコーナーを設けておりますが、「かやくーま」を用いてビジュアル的にわかりやすく説明するようにしています。また、日常使用するメモやクリアファイル、さらには会議室のデザインにも取り入れて、常に従業員の目に触れ、企業ビジョンを意識させるよう取り組んでいます。現在では、商標登録も行い、日本化薬グループのキャラクターとして、新聞広告や工場祭のノベルティ等でも活躍しています。



浸透キャラクター「かやくーま」



会議室とロッカー

[> かやくーまの部屋](#)

## 人権の尊重とKAYAKU spirit

KAYAKU spiritの基本理念に「良心の結合」という言葉があります。私たちは、企業活動のあらゆる側面において従業員やお取引先などすべての人びとの「人権を尊重」し、お互いに良き心を結び合うことが企業経営の基本であると考えています。

### ■人権方針

日本化薬グループの行動規範である「[日本化薬グループ行動憲章](#)」で、すべての事業活動において人権を尊重することを定めています。また、「[日本化薬グループ行動基準](#)」では第5条に人権と様々な多様性の尊重について謳い、国内外を問わずすべての従業員の基本行動の原則としています。

### ■従業員への人権の取り組み

日本化薬では、グループ管理本部長を委員長とする「倫理委員会」を設けています。職場でのハラスメントや人権侵害がないようさまざまなテーマで議論をしています。管理職をはじめ従業員に対し、人権配慮やパワーハラスメント・セクシャルハラスメント・マタニティハラスメント防止、あるいはLGBTへの理解促進などついて、定期的に社内研修や外部講師を招いての講演会を開催しています。社員のダイバーシティ&インクルージョンに取り組む、いきいきと働ける職場環境づくりに継続的に努めています。

### ■CSR調達における人権への配慮

日本化薬グループのCSR調達の基本方針である「[日本化薬グループの購買基本方針](#)」において、日本化薬グループ行動憲章・行動基準に基づいた判断をすることを掲げています。さらにCSR調達ガイドラインでは第2章「人権と労働」で非人道的な扱いや差別の禁止、強制労働や児童労働の禁止について具体的に定めています。当社グループはお取引先や協力会社とともに人権に配慮した購買活動を行います。